

第3回

東大阪市中小企業振興会議

労働雇用部門会議

令和2年2月6日

経済部 労働雇用政策室

学生及び若者*へのアプローチ

*労働雇用政策室では若者への支援として、若年者等就業支援事業を行っている。「若年者」に明確な年齢制限を設けているわけではないが、現在は39歳以下を想定している。

【学校との連携】

東大阪市内及び近隣に6大学が立地しており、市とゆかりをもつ学生は多い。しかしながら、就職を機に市外へ転出する人も多く、その世代の転出超過が課題となっている。市内企業への就職を促すため、学生の頃から興味をもってもらうことが重要であると考えます。

○大学ゼミとの連携

- インターンシップ受け入れ企業一覧が掲載されている冊子を配布
- ハローワークでの取り組み

「ものづくり企業紹介冊子」の中学校への配布を通して、早期の段階から多様な職業・業種に関する知識を身に付け、自分の適性に関する理解を促進し、地元企業への理解を深めてもらう。

【企業と若者をつなげる】

若者に、市内企業への理解を深め興味をもってもらうことで、就職先を決める際に、選択肢の1つとしてもらう。企業と若者が接点を持てる機会を提供することで、理解が深まると考える。

- 合同求人面接会・合同企業説明会
- 業界研究会

大学3年生以下が対象。各業界の特長や具体的な業務内容、業界の成長性などを企業採用担当者から直接聞くことができる。

○企業向けセミナー

「自分の魅力を再発見！採用力アップセミナー」

～中小企業の採用好事例から学ぶ～「採用できる！100%ハローワークの活用術」

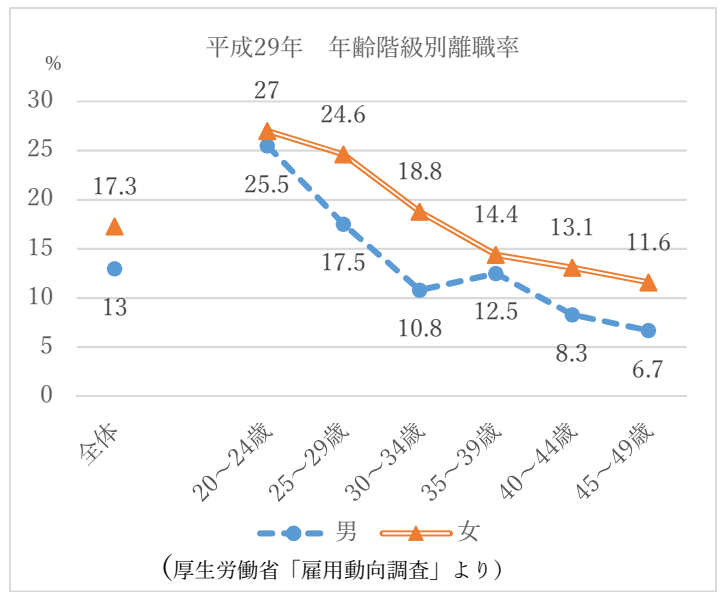
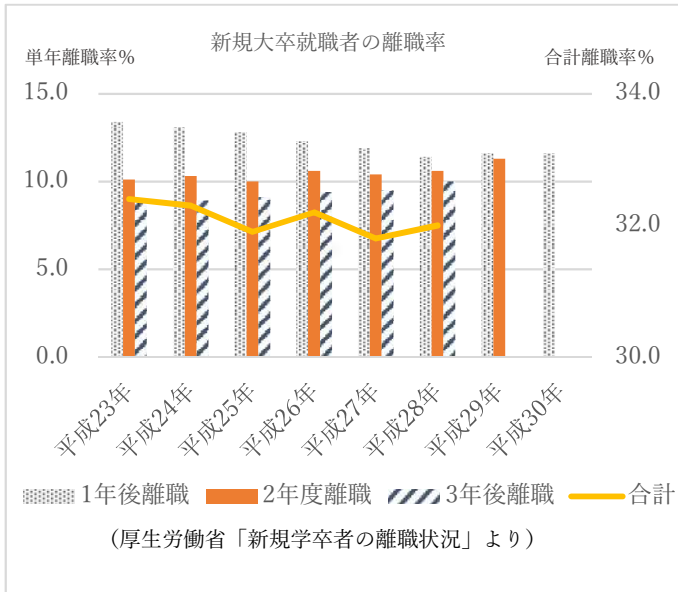
*平成30年度開催分

- インターンシップ受け入れ企業一覧が掲載されている冊子を配布

【若年層の課題の解消】

若年者の中でも低年齢層ほど離職率は高い。また、大学卒の就職後3年以内の離職率は、1年目ほど高い。要因としては、時間外労働の長さや給料への不満などの労働条件への不満、人間関係、仕事内容への不満などが挙げられる(*)。そのようなミスマッチを防ぐために、事前により深い知識が得られるよう、市内企業と求職者が出会える機会を提供していく。また、職業適性診断やキャリアカウンセリングを通して、自己の能力を活かせる職種について理解を深めてもらう。

*厚生労働省 「平成30年度若年者雇用実態調査」より



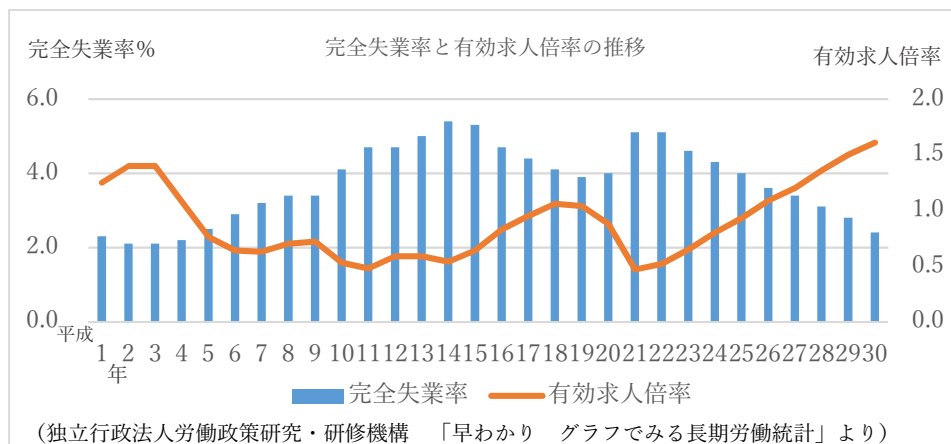
- 合同求人面接会・合同企業説明会
- 業界研究会
- 職業適性診断
- キャリアカウンセリング

【就職氷河期世代の支援】

昨今の社会情勢としては、就職氷河期世代の活用が課題となっている。

就職氷河期の明確な定義はないが、厚生労働省の就職氷河期世代活躍支援プランにおいては「概ね1993（平成5）年～2004（平成16）年に学校卒業期を迎えた世代を指す。2019年4月現在、大卒で概ね37～48歳、高卒で概ね33歳から44歳に至る。」とされている。

その世代の就職期は、バブル崩壊がきっかけとなり、景気が大幅に後退し、その後も長引く不況感から有効求人倍率の低下が続いた。



卒業時期の就職活動を通して、正規の就労機会に恵まれなかった人々は、その後も非正規や無就業状態を長期に続ける場合が多い。課題を抱えながらも就労意欲のある人たちと市内企業のマッチングを行うことが、求職者支援及び企業支援につながると考える。

《理由別 非正規雇用の職員・従業員の割合》

【□男性：正規の職員・従業員の仕事がないから】

年齢階級	15歳~24歳	25歳~34歳	35歳~44歳	45歳~54歳	55歳~64歳	65歳~
割合 (%)	7.4	31.6	35.0	37.5	23.3	11.8

【■女性：正規の職員・従業員の仕事がないから】

年齢階級	15歳~24歳	25歳~34歳	35歳~44歳	45歳~54歳	55歳~64歳	65歳~
割合 (%)	7.3	13.5	9.6	9.1	10.0	5.0

【□男性：自分の都合のよい時間に働きたいから】

年齢階級	15歳~24歳	25歳~34歳	35歳~44歳	45歳~54歳	55歳~64歳	65歳~
割合 (%)	46.3	22.4	20.0	19.6	17.1	29.8

【■女性：自分の都合のよい時間に働きたいから】

年齢階級	15歳~24歳	25歳~34歳	35歳~44歳	45歳~54歳	55歳~64歳	65歳~
割合 (%)	49.6	26.9	25.3	26.8	31.4	38.1

【■女性：家事・育児・介護等と両立しやすいから】

年齢階級	15歳~24歳	25歳~34歳	35歳~44歳	45歳~54歳	55歳~64歳	65歳~
割合 (%)	2.2	25.7	31.2	19.1	11.4	6.3

*総務省 「2018年労働力調査（詳細集計） 平成30年（2018年）平均（速報）」より

理由別、年齢階級別に非正規雇用を選択している理由を男女別にみてる。

男性は、15歳~24歳の若い層では、「自分の都合のよい時間に働きたいから」という自発的理由で選択している割合が高い。一方、25歳~64歳の、いわゆる就職氷河期世代を含む年代では、「正規の職員・従業員の仕事がないから」という非自発的理由で現状の雇用形態を選択している割合が高い。正規雇用への転換ができない人が多数いると思われる。女性は、「正規の職員・従業員の仕事がないから」という非自発的理由による選択は比較的少なく、「自分の都合のよい時間に働きたいから」「家事・育児・介護等と両立しやすいから」という理由で選択している割合が高い。ライフステージの変化による影響が大きいと考えられる。

正規雇用につながらない要因としては、

① 職務経歴を重ねられないことで企業とマッチングしない

中途採用市場では、企業は即戦力を求める傾向がある。しかしながら、無就業状態や非正規の状態を長期に続けることで、キャリアを積み重ねることが難しくなる。能力を身につけ、即戦力として求められるためのプログラムが必要となる。

○合同求人面接会・合同企業説明会

求職者支援及び企業支援として、対象者を分けて、合同求人面接会・合同企業説明会を開催している。その中でも、若年者の求職者全般を対象とした「就活応援フェスティバル合同求人面接会」においては、年齢別の参加者の人数は以下のとおりであった。アンケート回答者のうち、30代以上の参加者が半数であった。そのことから、新卒以外の世代からの需要は高いと考えられる。

《令和元年9月13日開催 就活応援フェスティバル合同求人面接会における参加者》

年齢	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	未回答
参加者数	13	9	8	12	2	52

○モノづくり人材育成塾

大阪府立東大阪高等職業技術専門校(*)において、技能講習を受講し、基礎的な技術や知識を事前に身に付けて、東大阪市内企業でモノづくり現場を体験した上で、就職につなげていく。対象者は学生を除く39歳以下の東大阪市内在住者で、東大阪市内のモノづくり企業への就職希望者となる。本事業の参加者は、その後の就職率も高いことから効果的な手法であると考えられる。今後は年齢制限の上限の引き上げを検討したい。

* (大阪府立東大阪高等職業技術専門校)

平成元年の創立以来、「産業界が求める有為な人材の育成」を目指し、基礎的な技術・技能の習得や関連資格の取得を目標に、校内の充実した設備機器を活用し、ものづくり関連5科目で1年間の職業訓練を行っている。また、在職者を対象とした技術・技能のスキルアップを図るためのテクノ講座を実施している。就職氷河期世代への支援として令和2年度から募集人員の年齢制限の上限を撤廃する。

令和元年度の在校生の年齢層は、

10歳代10人 20歳代20人 30歳代以上11人 40歳代3人となっている。

② 就職活動の一步が踏み出せない

就職活動に失敗し、自己肯定感が低くなり、積極的な一步を踏み出せない。

○地域若者サポートステーション事業

自信がない、コミュニケーションが苦手など、様々な課題を抱えながらも、働くことに踏み出したいと思う方たちとじっくり向き合い、「働き出す力」を引き出し、「職場定着す

るまで」を全面的にバックアップしている。当事業は、厚生労働省からの委託を受けて運営されており、補完的な事業を市が委託している。現在の利用対象者は、39歳以下となっているが、令和2年度から49歳まで引き上げられ、就職氷河期世代の支援が拡充されることとなる。

③ 新卒採用が有利な採用市場の構造

仕事につけない理由別失業者数を年齢階級別に見てみると、15歳～34歳では0であるが、35歳以上から増加する。当室で開催している合同企業説明会や合同求人面接会では、新卒世代以外の方の参加も多い。企業にも積極的な採用を求めていく必要があると考えられる。

《失業者総数に対する「求人との年齢と自分の年齢があわない」理由による失業者数の割合》

年齢階級	15歳～24歳	25歳～34歳	35歳～44歳	45歳～54歳	55歳～64歳	65歳～
割合(%)	—	—	5.6	14.3	22.2	40.0
実数(万人)	0	0	2	5	6	6

*総務省 「2018年労働力調査(詳細集計) 平成30年(2018年)平均(速報)」より

○合同求人面接会・合同企業説明会

○若年者等トライアル雇用支援金制度

市内に居住する若年者等の雇用を促進するため、国のトライアル雇用を利用し、市内在住者を雇用した市内事業主にトライアル雇用支援金を支給し、常用雇用に繋がるように支援する。